

令和 8 年度

特記仕様書

沖縄市大規模下水道管路特別重点調査業務委託（空洞調査）

沖縄市上下水道局 上下水道部 下水道課

共通事項

1. 件名：沖縄市大規模下水道管路特別重点調査業務委託（空洞調査）
2. 場所：沖縄市内一円
3. 期間： 契約締結日の翌日から令和 9 年 2 月 26 日
4. 調査対象：沖縄市大規模下水道管路特別重点調査業務委託にて、緊急度 I と判定された管路上の空洞調査とする。
5. 調査概要：下記の通り

調査延長 L= 1,702m ※別添参照

No.	項目	単位	数量	備考
1	計画・準備等	式	1	計画書作成、協議
2	現地踏査・資料検討	式	1	現地状況の把握・資料収集
3	解析	式	1	評価
4	報告書作成（中間報告含む）	式	1	調査結果のまとめ考察等
5	測定線の設定、マーキング	式	1	
6	レーダ探査	式	1	
7	データ収録	式	1	
8	交通誘導警備員 B	人	14	昼間

6. 適用
 - （1）本書は、沖縄市上下水道局上下水道部下水道課が発注する業務等に適用する。
 - （2）業務履行にあたっては、国や県等が定める共通仕様書等に基づき、実施する。
7. 手続き等

関係機関の手続きは、必要に応じて受託者がおこなう。また、費用は本業務価格に含む。

業務委託仕様書

第 1 章 調査

1.1 現地踏査

調査対象区域について、道路状況など、現地を十分に把握しなければならない。

1.2 ハンディ型地中レーダ探査

位置図で示した調査箇所を対象に調査を行い、取得データを記録・解析することで空洞の可能性のある箇所を抽出する。

1.3 探査装置

- ・探査深度は、1.5m 程度で行えるもの
- ・探査幅は、一走行で 1.0m 程度行えるもの（一走行で 1.0m を満たさない場合は、複数回走行し、1.0m を満たすこと）

第 2 章 提出図書

提出図書

提出すべき成果物は、以下とする。なお、成果物の作成にあたっては、あらかじめ発注者と協議しなければならない。

	項目	部数	備考
1	報告書	2	調査方法、調査機器、調査結果、空洞調査調書等
2	位置図	2	空洞箇所
3	上記の原本データ（D V DもしくはC D）	1	ウイルス確認を実施すること

第 3 章 成果品に関する品質確保

1. 使用機材の性能確保

使用する機材の性能確認を証明できる性能検定書等を発注者に提出すること

2. 品質の保証

発注者は、調査結果として「異常なし」としていた箇所において、天災又は工事等による現場状況の変化がないにも係わらず、業務完了後 1 年以内に道路陥没が発生した場合は、調査結果について原因究明を求めることができる。原因究明にあたっては、受注者の負担において道路陥没の発生状況について現場確認等を行い、本業務結果との因果関係を明確にすること。

第 4 章 特記事項

1. 調査の段階で路面陥没が発生する危険性が有ると考えられる異常信号が抽出された場合は、直ちに発注者へ報告するものとする。

なお、現地での緊急対応が可能となるよう、位置の特定に必要な詳細位置情報調書（位置図、写真、異常信号の広がりと深度）等を報告すること。

2. 受注者は、本業務の施行にあたり、所轄警察署等の各関係機関と協議・調整を図り、安全を確保すること。

なお、業務施行に必要な官公庁等への諸手続きは、受注者において行うこと。

3. 一般車両に対し安全・円滑な交通を確保するとともに、短時間で調査が完了するよう努めるなど、沿道住民等に配慮して施行すること。

4. 沿道の住民および道路利用者より苦情等があった場合には、受注者において丁寧かつ適切に対応するものとし、その結果を速やかに発注者へ報告すること。

5. 受注者において、占用等に係る申請書類を作成しなければならない。

6. 工程に遅れが生じた場合には配置技術者の変更、担当者の増員等の対策を講じなければならない。

7. 再委託をする場合には、理由や契約書等を添え提出しなければならない。

8. インボイス登録について、登録の有無やその他情報等に関する事項は、必要に応じ、内容等を開示しなければならない。

9. 企画提案書にて提案した事項について、本業務委託の範囲内とする。

沖縄市大規模下水道管路特別重点調査業務委託(空洞調査)

箇所	対象路線	管路施設の種類	管径	延長	布設年度
	幹線名称		(mm)	(m)	(西暦)
①	安慶田第1雨水幹線	雨水管	2,000	5.02	1975
		雨水管	3,450	21.20	不明
		雨水管	6,300	5.00	1981
	越來雨水幹線	雨水管	2,000	39.60	1979
		雨水管	2,000	29.00	1979
		雨水管	2,000	40.00	1980
②	胡屋雨水幹線	雨水管	2,400	55.30	1977
		雨水管	2,400	54.75	1977
		雨水管	2,400	54.30	1974
		雨水管	2,400	38.72	1974
		雨水管	2,400	5.50	1974
		雨水管	2,000	75.00	不明
③	山内第1雨水幹線	雨水管	2,000	111.81	1977
		雨水管	2,500	140.29	1978
		雨水管	2,500	84.00	1978
	山里雨水幹線	雨水管	2,500	8.10	1975
④	比屋根第1雨水幹線	雨水管	2,500	42.00	1985
⑤	美里第1雨水幹線	雨水管	2,400	100.00	1975
		雨水管	2,500	50.53	不明
		雨水管	2,500	49.09	不明
		雨水管	2,500	51.50	不明
		雨水管	2,500	49.17	不明
		雨水管	2,500	49.24	不明
		雨水管	2,500	65.87	不明
		雨水管	5,000	58.00	1979
⑥	泡瀬第9雨水幹線	雨水管	2,000	67.10	不明
		雨水管	3,000	21.00	不明
		雨水管	3,000	19.65	不明
		雨水管	3,000	18.90	不明
		雨水管	3,000	21.10	不明
		雨水管	3,000	19.10	不明
		雨水管	3,000	21.20	不明
		雨水管	3,000	21.10	不明
		雨水管	3,000	18.65	不明
		雨水管	3,000	22.30	不明
		雨水管	3,000	19.50	不明
		雨水管	3,000	20.13	不明
		雨水管	3,000	22.60	不明
		雨水管	3,000	18.20	不明
		雨水管	3,000	19.60	不明
		雨水管	3,000	19.60	不明
		雨水管	3,000	19.00	不明
⑦	泡瀬第10雨水幹線	雨水管	2,000	8.00	1988
	枝線	雨水管	2,200	22.45	1995
合計				1,702.17	